





地理



地誌



宗教



民族



経済



自然



語学

## 日本史 益

人間の欲が近代の女工に生糸をひかせた。  
 愛国心が地球全体に国境線をひいていく時代。  
 一万円札の福沢諭吉が物語る近代日本。  
 江戸時代、夫婦の財産権や三行半の実情は？  
 キリシタンを訴え出ると褒美がもらえる!?  
 でも、本当にもらった人いるの？  
 「なぜ？」という問いからスタート。  
 古代は女性の時代、そして今また再来の兆し。  
 御家人になる女性、戦う女性、一族を取り仕切る女性、  
 中世の女性達に、今日の「女性らしさ」を見つけるのは至難のわざ。



## 東洋史 益

漢字がなかったとしたら、  
 日本固有の文明・文化はどうなっていたらどうか。  
 「三国志演義」に描かれた曹操や諸葛孔明の人物像はホント？  
 孫文と「宋家の三姉妹」との間柄は、本当はどうだったのか。  
 中国や韓国は首相の靖国神社参拝になぜ反対するのだろうか？  
 イスラム過激派のテロの標的にされないために  
 私たちはどうすればいいの!?



## 西洋史 益

ヨーロッパ再発見の旅にでよう。  
 フランス革命で自由と平等のために戦った女性たち。  
 中世の都市と現代の都市、どこがどう違うの？  
 カトリックとプロテスタントと東方教会……  
 いつ頃から、どのように分かれていったの!? 違いは？  
 日常生活の中にも歴史がある。  
 キリスト教だけでは語れないヨーロッパ文化の深遠。  
 なぜ民族問題が多発するのか。  
 文書・絵画・版画・ビラなど多彩な史料に秘められた物語を読む。



## 歴史表象 益

「表象」及び「表象作用」を歴史的、哲学的、文学的に追究する。  
 例えば『進撃の巨人』は何を表象しているのだろうか。  
 この既視感漂うディストピアは、神話や歴史の素材によって  
 精巧に組み上げられていて、たとえ架空の登場人物でも、  
 その苦悩はまるで我々の生き様の寓意のよう。  
 あらゆる表象媒体、つまり漫画も文学も芸術も歴史記述も  
 深く学べば必ず現存在の哲学的問いへ導かれる。  
 歴史と哲学は「表象」において奇跡的に出会う。  
 この出会いを学問的に追究し実践する。

# 歴史を学問的にひもとき、「いかに生きるべきか」を考える

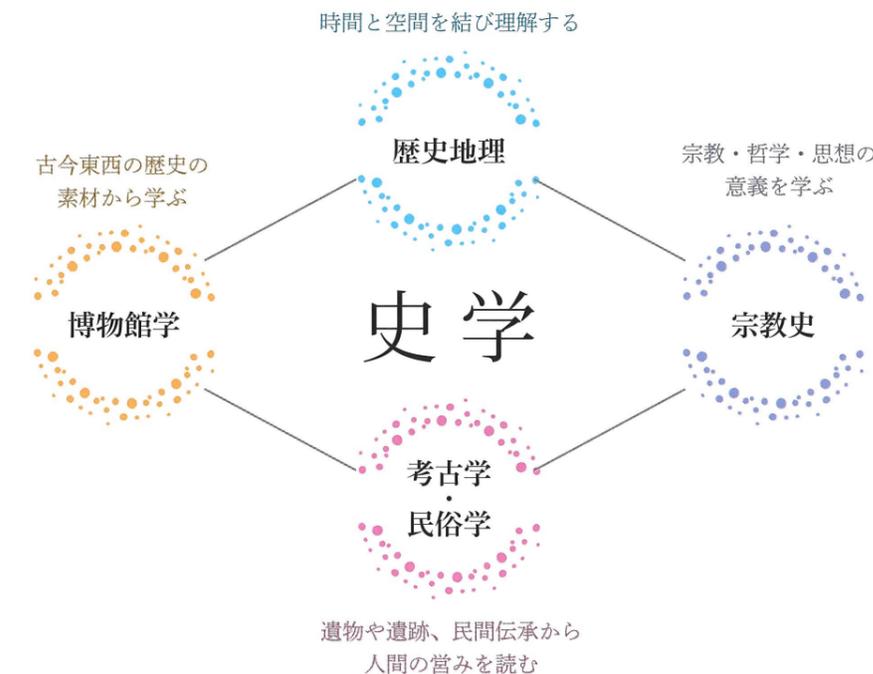
歴史学の学びを通し、歴史的な思考力を鍛えることで、人類の歩みを把握することが目的です。

さまざまな地域や時代を探究することで視野を広げて、多様な人間存在への考察を深め、

歴史的視点から現代を再認識し、未来に貢献できる人材を養成します。

## 学びの分野

日本史・東洋史・西洋史を中心に、  
関連領域まで広く深く学ぶ



## 在学生の声

史学科で学び始めて早くも3年目になりました。3年生になると、本格的な演習が始まり、報告の機会が多くなります。色々調べていくと、高校では想像もできない事実が沢山出てきます。準備のために専門的な論文を読むのは少ししんどいですが、無事発表が終わった後の開放感は素晴らしいものです。ゼミナールの雰囲気は和気藹々とし過ぎていくくらいで、しばしば先生の喝が入ります。でも、勉強が楽しいのだから仕方ありませんよね！最近私は授業が終わると1人で映画館に行くことにはまっています。映画を見ることもとても楽しいです。楽しいって二回言いましたね。それほど大学生活って楽しいんです。このまま順調に4年生になって卒業したら、学科の友達と過ごせなくなるかと思うと悲しいです。(2016年入学Sさん)

史学科で2年生になると、西洋史・東洋史・日本史の中から、好きな分野を選択できます。私は西洋史に興味があるため、古代ローマや中世ヨーロッパについての授業を受けています。高校では扱わないような人物や出来事について、専門的な授業を受けることができ楽しいです。また1年生の時に学んだ諸外国語の基礎的な知識を活かし、より深く学ぶことができます。私はドイツ語を選択しており、グリム童話を読んでいます。日本語で知っている内容でも、他言語で読むと新しい発見があり面白いです。授業後はサークルやアルバイトなどに取り組んでいます。2年生になると大学にも慣れ、余裕を持って色々なことに挑戦できるので、とても楽しいです。日本女子大学にご縁がありましたらお会いしましょう！(2017年入学Sさん)

私の所属している史学科では、一年次に日本史、西洋史、東洋史の全てを履修し、私達人類が歩んできた道を考察しています。歴史の他にも、様々な分野の授業の履修も可能なのでより多角的に、自分なりに、歴史を考えることが出来ます。私は地誌学の授業をとっているのですが、地理的な観点から歴史を見てみようと思んでいます。英語や初修外国語(第2外国語)の授業は少人数で行われているため教授との距離も近く、質問も気軽にすることが出来ます。日本女子大学は少人数授業が多いので教授や友達との交流がしやすいです。また、授業が組みやすいためサークル活動やアルバイトもする事が出来ます。私は共学の高校に通っていたので「女子大」に不安もありましたが、今では史学科の友達と楽しく過ごしています。(2018年入学Kさん)

史学科では、1年次に日本史・東洋史・西洋史を概観したあと、関心のある分野に分かれ学びを深めていきます。3年次に履修する演習では、与えられた史料をもとに疑問点や考察を報告します。難解な文献を読み解くのは試行錯誤の連続ですが、報告の準備期間に出会った資料や思いがけない質問、先生方からのフィードバックが成長の糧になっていると感じます。加えて、演習には様々な分野を専攻する学生が集まります。自分とは異なる視点を持った仲間との意見交換は楽しく、物事を多角的に理解する力を養うことができます。史学科には、多様な価値観や関心を持った学生がいます。互いの意見に真摯に耳を傾け、相手の考えを受け入れつつも自分なりの観点で意見をはっきりと伝え合える史学科の雰囲気は居心地がよく、成長できる場だと感じています。(2020年入学 Hさん)

大学では、日本史を専門に学びたいと思い「史学科」のある日本女子大学に進学を決めました。私が特に、四年間心掛けたことは「専門以外の授業も積極的に履修する」姿勢です。知識をつけなければならない世界が少しずつ鮮明になり、また同時に自身の専門に対する解析度も高くなったと感じます。史学科には「学ぶ」ことを否定する人は1人もいません。一人一人が自分の学びの軸をもっているからです。このような環境に身を置けたことは、自身の人間性の成長にも大きく繋がったと思います。素敵な学友、素敵な恩師との出会いがあると思います。一つ一つのつながりを大切に、是非、自分の「学び欲」と真摯に向き合う4年間にしてほしいと思っています。(2019年入学 Sさん)

## 取得可能な資格

- 中学校教諭一種免許状(社会)
- 高等学校教諭一種免許状(地理歴史)
- 学校図書館司書教諭
- 司書 ● 博物館学芸員
- 社会福祉主事 ● 日本語教員養成講座

## カリキュラム一覧

1年次		2年次		3年次		4年次		
<b>各時代、各地域の歴史の概要を把握</b> 「日本史概説」「東洋史概説」「西洋史概説」と「基礎演習」を中心に、歴史学研究の基礎と方法を学びます。		<b>興味関心に合わせて専門性を高める</b> 専門的な講義が始まります。また、興味関心に沿って学ぶための、多彩な専門科目が設置されています。		<b>少人数制のゼミで歴史と深く向き合う</b> 少人数でのゼミが中心です。各自が選択した専門に合わせて、本格的な歴史研究をさらに進めていきます。		<b>知識と技術を活用し卒業論文をまとめる</b> 幅広い知識を活用し、広く深く研究した独自のテーマを4年間の総まとめとして、卒業論文に仕上げます。		
方法科目	地域経済論	経済学入門 政治学概論	哲学概論					
	日本史概説	東洋史概説	西洋史概説					
	世界史の方法	地理学の方法	宗教学の方法	考古学の方法	民俗学の方法	文化人類学の方法	地誌学の方法 法学概論	
基礎演習	基礎演習	基礎演習	古文書基礎演習					
主題科目	アメリカ史	イギリス史						
		日本史講義 世界遺産論 宗教学各論	歴史文化講義	東洋史講義 観光地理学 中国思想史	西洋史講義 日本文化史 地理学各論	自然地理学 歴史表象特別演習		
		アメリカ文化講義Ⅱ-1		醍醐寺寄附授業文化財学	アメリカ文化講義Ⅱ-2			
		地理学演習	宗教学演習					
演習			日本史演習	東洋史演習	西洋史演習	考古学演習		
特別演習					日本史特別演習 西洋史特別演習 宗教学特別演習	東洋史特別演習 地理学特別演習 歴史表象特別演習		
その他						卒業論文		

## 時間割モデル

### 1年次後期の時間割モデル

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.
1	初修外国語 初級		身体運動	初修外国語 初級		
2	英会話		西洋史概説	基礎演習	地理学の方法	基礎英語
3	東洋史概説	世界の神話	日本史概説		英会話	
4	基礎英語	英会話	生活意匠論		心理学	
5		博物館概論	英会話			

■ 学科専門科目

### 3年次後期の時間割モデル（日本史）

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.
1	博物館実習					日本史演習
2	考古学の方法		日本史演習	身体運動		
3	中国語中級 アドヴァンスト				醍醐寺寄附 授業演習	
4			日本史講義		日本文化史	
5						

■ 学科専門科目

## 講座の内容（主なもの）

日本史概説	一国史として日本史をとらえるのではなく、世界、とりわけ東アジアのなかの日本という視点に基づき、史資料を通して古代から近代にいたるまでの通史に対する理解を深める。
東洋史概説	中国を一つの中心としながらも、北アジアや中央アジアにまで視点を広げ、「中央ユーラシア」という文明圏の成立の過程を概観することにより、広域から複眼的に歴史を見る眼を養う。
西洋史概説	近代化の中心となった北西ヨーロッパのみならず、地中海世界や東ヨーロッパにまで視点を広げることにより、コンパクトでありながら多様性に富むヨーロッパ社会の形成に対する歴史的理解を深める。
古文書基礎演習	代表的な形式を持つ古文書を用いて、くずし字で表記された史料を解読する。史料本文を読みこなし、解釈することによって、史実を正確にとらえるための基本的な方法を修得する。
醍醐寺寄附授業文化財学	前期には、どのようにして文化財の保存・管理がなされてきたか、その歴史的な過程を学習し、後期には、古書の修理技術を実地に学ぶ練習を行う。
東洋史演習Ⅰ	『三国志』をはじめとする中国の歴史書を原文で読み解く。登場する人物たちの躍動する姿を再現するとともに、中国における歴史の見方や歴史書の性格について議論する。
東洋史演習Ⅳ	中東イスラーム近現代史における中心的問題である、文明としてのイスラーム、民族・エスニック問題、宗教・宗派問題、国民国家などのテーマを取り上げ、中東イスラーム近現代史の全体像を把握する。
世界遺産論	世界遺産に登録された具体的な事例の歴史を詳しく検討することで、制度の意義と目的を理解し、世界遺産を見る目を養う。ヨーロッパ・日本・アジアの遺産を中心に取り上げる。
西洋史演習Ⅰ	西洋中世における王権や近代の国民国家形成などを題材として、研究文献の精読を行う。それを通じて、西洋史研究の方法と理論を学び、論文の書き方に関する作法を修得する。
歴史文化講義Ⅰ	西洋哲学、西洋比較文学、神話学、伝説・メルヒェン論、比較宗教社会学、メディア論の枠組みを援用し議論を展開する。それらについての一定の知識を身につけ、ドイツを切り口として、ヨーロッパ、そして近代文明が形成されてくる世界史の内部構造の深い理解へと誘う。

## 日本女子大学の史学

### 実学としての史学——身につく力

歴史を解明するためには、当時の人々が残してくれた古文書や絵画、遺物や伝承などの膨大かつ多様な史料群の中から、目的の史料を探し出し選択し、また、当時の人々の価値観を理解した上でじっくりと読み解いていく必要があります。多様な史料を収集する力、解読する力、真偽を判断する力、論を組み立てる力——これらは現代の情報社会でこそ必要な能力です。

### 手触りの歴史学

歴史を自分の言葉で語ること、これが歴史学の面白さです。その語り方は決して一つではありません。私たちの周辺に遺された数えきれない歴史の痕跡に触れて、時代を実感すること、それが歴史学の第一歩です。古文書や書籍、絵画や彫刻、建造物や遺跡、歌や踊り、時には風景や気候までもが、歴史を解明する素材となります。日本女子大学の史学科では、知識に偏らず、触感を重視して個性的に歴史を描き出す方法を学びます。このような方法は、歴史研究に限らず、人を知り、社会を知り、自分を表現するために、最も大切な人間のあたたかさそのものではないでしょうか。

### フィールドワークを重視

当時の人々が残してくれたさまざまな史料を、より正しく解読するためには、それらの史料が作成され、保存されてきた現場に自分の身体を置いてみるのが大切です。現地へ赴いて周辺を歩き、史料が作成され、保存されてきた寺社や教会、博物館や史料館などを訪れ、歴史が形づくられた現場を五感で実感すること——これがフィールドワークです。時間と空間を越えて、史料が新たな真実を語り始める——現地調査でのダイナミックな発見の瞬間です。

### 日本史・東洋史・西洋史の全域をフォロー

講義や演習では、どのような問題や論点をテーマにし、検討されているか？ そのほんの一部を紹介しましょう——。東アジアの国際関係と日本律令国家の成立／真言密教教団の形成と発展／日本キリシタン史の諸問題／日本における近代とは何か／『三国志』の時代／中東・イスラーム地域における国民国家システム／「プロレタリア文化大革命」とは何だったのか／中世ヨーロッパ都市史／バルカン近現代史／近代ヨーロッパにおける読み書きの歴史——人類の足跡を検証していくことは、私たちの未来を見通すことにつながります。

## 学科の特色

### 1

#### 4つのコースに分かれて興味関心を究める

史資料解読に力を入れて実地学習を重視する「日本史」、漢字文化圏に加えて中東・中央アジアなど広範な地域を対象とする「東洋史」、ヨーロッパ諸語の習得に努めてヨーロッパの社会形成の歴史を総合的に学ぶ「西洋史」、哲学・思想・比較文学を基礎に「表象」を歴史的に追究する「歴史表象」の4つの分野があります。

### 2

#### 演習重視のカリキュラムで独自の歴史像を構築

1年次から必修の少人数制のゼミではきめ細かな指導のもと、史資料の扱い方や古文書の解読など、歴史を理解する方法を学びます。どの時代・地域・テーマからでも自由に学びをスタートさせて、独自の歴史像を構築することができます。

### 3

#### 実社会でこそ生きる考察力と行動力

官公庁、企業の芸術文化振興部門、旅行・観光サービス分野、マスメディア関連、企画・広報・広告サービスなど、卒業生が活躍する場はさまざまです。中学・高校（社会・地理歴史）の教員、司書・司書教諭、博物館学芸員への挑戦も推奨しています。

### 文化財系科目の充実

史学科には、博物館学芸員資格を取得するための科目が豊富です。博物館学では、自然や人間が生み出した有形・無形の文化遺産から歴史を学び、考古学や文化史、文化財学では、素材としての資料を通して歴史を見る目を養います。その先にあるのは、私たちに残された貴重な文化遺産の保護であり、人間の叡知と尊厳の証を守ることでもあります。

### 言語運用能力の育成

史学科は、あなたの語学恐怖症をおおします。ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語のどれか1つの入門・初級・中級が必修です。しかし、詰め込み学習ではなく、その国の文化への理解を第一に考えます。ネイティブの先生の楽しい話や美しい発音。先生方の諸外国での経験談や最新情報。2年以降はバラエティに富んだ授業。3、4年生は少人数の中級アドヴァンストと上級（選択）で、その言語・文化に親しみます。

### 関連分野の多彩な科目を開講

地理学は空間的視点から、宗教学は宗教という普遍的現象から、民俗学や文化人類学は文字に残らない習俗から、考古学は発掘されたものから……と、日本女子大学の史学科は、文字史料を中心とする歴史学の方法をおぎない、より広い視点から歴史を捉えることのできるように様々な関連分野の科目を開講しています。



# 卒業生の声



青柳奈津美さん

**出身高校**  
千葉県立東葛飾高等学校  
**卒業年**  
2015年  
**就職**  
(株)全日本空輸

日本女子大学の史学科は外国語学習が重視されています。私は、習い始めたドイツ語を用いて2年次の夏にオーストリアのウィーンに留学しました。世界中から集まった異なる文化や価値観を持つ人々との交流は、毎日が刺激の連続で、自分自身を大きく成長させてくれました。現在は、(株)全日本空輸の客室乗務員として働いています。特に国際線では、外国籍のお客様とお話する機会が多くありますが、その度に史学科での学びや留学を思い出し、あの時の経験が活きていると実感します。様々な文化、国籍、人種、性別や考え方の違う人々が入り交じり、グローバル化が進む現代社会では、多様性が求められています。ぜひ史学科で、世界の歴史を通じて異文化に対する理解を深めながら、視野を広げてみてください。



大竹みずきさん

**出身高校**  
神奈川県立横浜翠嵐高等学校  
**卒業年**  
2016年  
**就職**  
横浜市役所

大学卒業後、社会に出てからも、「自分とは何か」を考えることがあります。私自身もこれから様々な経験をしていくところですが、就職、転職、キャリアアップ、結婚、出産、介護など、自分のことを深く、多面的に知っておくことでそれらをプラスにとらえることができそうだと直感しています。自分のことというのはすなわち自分の歴史ですから、ここでこそ史学科の学びの方法が生きてくるわけです。史学科では、歴史のジャンルだけではなく、多様なアプローチの方法を学べます。対象について様々な角度から考察をすることで、それをより深く知ることができるのです。史実や時代に興味があり、もっと知りたいという方はもちろん、「自分」について知りたいと考えている方にも史学科はおすすめです。



松崎安紀さん

**出身高校**  
愛媛県立松山東高等学校  
**卒業年**  
2016年  
**就職**  
愛媛県立高校教員

史学科を卒業し、愛媛県の高校教師になって3年目になります。史学科では、西洋史、東洋史、地理学など幅広くさまざまな授業をとりました。2年次以降、少人数の授業が多くなるため、先生方は一人ひとりの学生に応じた丁寧な指導をして下さりました。私が勤務する高校は、1クラス20名弱の小さな学校です。史学科の授業と同じように、質問があればすぐに手を挙げられるようなアットホームな授業を目指しています。

教師という仕事は、生徒の人生に関わって行く責任のある仕事です。大変なことも多いですが、生徒の成長を側で見られた時、大きなやりがいを感じます。一人でも多くの生徒に歴史の面白さを伝えられるよう、全力を注いでいます。

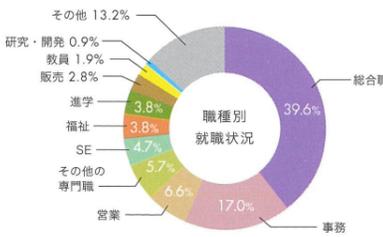


神子美涼さん

**出身高校**  
東京都立国分寺高等学校  
**卒業年**  
2018(学部)、2020(修士)  
**就職**  
板橋区教育委員会(学芸員)

高校生の頃に訪れた博物館に魅了されて学芸員を志し、本校の史学科に入学しました。2年次の古文書基礎演習で中世の史料を読み解く面白さに惹かれるとともに、日本史講義や寺院調査で実物の古文書に触れる経験を通して中世寺院や仏教美術への学びにのめりこんでいきました。特に、3年次の日本史演習で出会った「東寺百合文書」をきっかけに中世寺院の人事や文書管理に興味を持ち、さらに研究を深めたいと思い、大学院に進学しました。現在は、板橋区教育委員会で学芸員(学芸研究)として働いています。学芸員と言っても仕事内容は博物館での展示だけではありません。講座や文化財を活用したイベント、小中学校での出前授業なども仕事の一つです。このような教育普及事業に携わりながら、中近世史の学芸員としてまだ見ぬ地域の歴史・文化を掘り下げて、調査研究などもしています。ぜひ史学科で、実物資料に向き合い、学びを突き詰める楽しさに浸かってみてください。

## 卒業後の進路 (2021年3月卒業生実績)



### ●就職

【総合職】NTTデータウェブ/ココカラファイン/東京都国民健康保険団体連合会/日本海水/日本貨物鉄道/東日本旅客鉄道/ファーストリテイリング/丸井/三井住友海上あいおい生命保険/武蔵野銀行/明治安田生命保険/横浜銀行

【事務】国家一般職/埼玉県/相模原市/静岡県/東村山市  
【営業】日本生命保険/明治安田生命保険  
【その他の専門職】航空自衛隊  
【SE】JALインフォテック  
【福祉】ベネッセスタイルケア

【販売】丸善ジュンク堂書店/ルイ・ヴィトンジャパン  
【教員】埼玉県公立中学校/栃木県公立中学校  
【研究・開発】加藤建設  
●進学  
日本女子大学大学院

# 史学科の先生方



伊藤寿和 教授

**専門** 歴史地理学(日本)  
**担当** 地理学の方法・地理学演習・地理学各論・社会科教育法

歴史地理学の立場から、条里制・溜池・畑作・焼畑をキーワードに日本の古代から近世に至る土地制度と農業に関する調査・研究を行っています。毎年、元氣な学生たちと地図とカメラを片手に現地調査をおこなっています。



白杵陽 教授

**専門** 中東近現代史・イスラーム国際関係史  
**担当** 東洋史講義・東洋史演習

1973年の石油ショック直後に中東紛争に関心をもってこの地域の現代史の研究を始めました。以来、ユダヤ教、キリスト教、そしてイスラームという三つの一神教が培ってきた諸伝統のはざまで悪戦苦闘しています。異なる文化が織り成してきた複雑な歴史をもつ中東は容易には理解できませんが、だからこそそ学びがいがあります。皆さんも未知の世界を旅してみませんか。



加藤玄 教授

**専門** フランス中世史・中世英仏関係史  
**担当** 西洋史講義・西洋史演習・西洋史特別演習

「西洋中世でもっとも有名な女性是谁?」と聞かれたら、「ジャンヌ・ダルク」と答える方が多いかもしれません。はたして彼女は「フランス」を救うために、「イギリス」と戦ったのでしょうか?国や地域という空間的枠組みを、中世の人々がどう認識し、その中でどう生活していたかを考えています。



久保田静香 准教授

**専門** フランス文学・思想史・修辞学  
**担当** フランス語・西洋史演習・歴史表象特別演習

近世フランスの言語文化が専門です。現在の研究の端緒には、ことばへの関心がありました。ことばには、美醜を超えたこの世ならぬ世界を立ち上げ、音楽を奏で、私たちの存在を丸ごと揺さぶる力があります。フランス語という異文化を通じて日本語の外へといっしょに飛び立ちましょう。



黒子康弘 教授

**専門** ドイツ思想・文学  
**担当** ドイツ語・西洋史演習・歴史表象特別演習

ドイツ語圏およびその文化的関連地域(東南ヨーロッパや近代日本も含む)の言説に表象された精神世界について研究しています。神話、伝説、メルヒェン、思想・哲学、詩、評論、小説などのテキストを歴史資料として読解し、時代時代の刻印を受けた人々の内面世界を明らかにすることで、生きた時代の姿が浮き彫りにされると考えています。



近藤光博 准教授

**専門** 宗教学・南アジア近現代史  
**担当** 宗教学の方法・宗教学演習

宗教学とは、世界各地のいろいろな時代の宗教現象を比較することで、人間にとって宗教とは何なのか一問の間に答えようとする学問です。私自身は、南アジアの近現代史、とくにヒンドゥー教が専門ですが、授業では幅広い知識と理解をお伝えするよう心がけています。気構えず、大らかな気持ちで、宗教という問題に取り組んでほしいです。



佐藤亜莉華 助教

**専門** 日本中世近世寺院史・寺院史料論  
**担当** 基礎演習Ⅰ

古代に創建された寺院が千年の時を超え、現在まで活動し続けていることを不思議に感じたことはありませんか?寺院の存続は決して偶然によるものではなく、多くの人が各時代において、仏法とそれを継承する組織を守ろうとした結果です。一緒に寺内外の史料を読み解き、時代の変革期を迎えた寺院の奮闘とその選択について探っていただければ嬉しいです。



藤井雅子 教授

**専門** 日本中世寺院史・寺院史料論  
**担当** 日本史講義・日本史演習

寺院には古文書や記録など、僧侶が宗教活動を行う際に作成した史料が数多く残されています。こうした史料には時には僧侶たちの本音や愚痴が記されていることもあります。一緒に史料を読み解いて、歴史上に生きた人々の息遣いを感じ、新たな歴史の発見をしてみませんか?



山下将司 教授

**専門** 中国隋唐史・シルクロード史  
**担当** 東洋史概説・東洋史講義・東洋史演習

チャイナドレスが実は満州族の伝統服であり、餃子や饅頭がペルシア伝来であるように、中国史を考える上で北方の草原世界や西方のオアシス世界との関係を欠かすことはできません。私と一緒により広い視野から東アジアを見つめてみませんか。



古川元也 教授

**専門** 博物館学・日本中近世史・日本文化史  
**担当** 博物館概論・日本史演習

学生の頃、風化して判読できなくなる中世の碑文があまりに多いことに気づき、ひたすら拓本を打ち出かけていた時期があります。資料としてモノに向き合う原点はここにあります。時代が大きく変化し、科学技術がどれだけ進歩しても、実物資料の持つ力は減りません。その魅力を伝えるのが史学科であり、博物館だと思います。



吉村雅美 准教授

**専門** 日本近世史・対外関係史  
**担当** 日本史講義・日本史演習

「おてんば」はオランダ語に由来する言葉であることを知っていますか。「鎖国」と呼ばれた江戸時代の日本でも、人々の生活・文化や意識の中に、外国に関するものを多く見つけることができます。近世の古文書やオランダ語史料などから外国との関わりについて読み解きながら、「日本」とは何かを考えています。

